



東京日野プロバスクラブ

創立平成22年 10月5日

プロバスだより

第9号

POSITIVE AGING

平成23年8月18日発行

編集・発行:情報委員会

http://blogs.yahoo.co.jp/pc_hino

第9回 理事会

日時:平成23年7月14日(木) 14:00~15:30

場所:東京飛火野ロータリークラブ事務所

出席者:10名、日野市職員2名

第8回例会に備えて、具体的な運営に関する事を協議しました。

第8回 例会

日時:平成23年7月21日(木) 12:30~14:00

場所:高幡不動尊 客殿2階

出席者:24名 出席率 82.7%(会員総数 29名)

■開会 司会 例会委員長 奥 修兵

■会長挨拶 会長 篠原昭雄

①先月、平成22年度定期総会が会員の皆様のご協力で行われ、議事録署名をいただいて無事終了することが出来、7月1日から新年度に移行しました。

②定期総会の議事内容については、「プロバスだより」第8号に掲載されています。

決算・予算関係について、確定したものを7月例会で報告することになっていますので、この後、佐藤副幹事から報告があります。

③PCの活動については、新入会員にお入り頂き、会員29名体制となり、また各委員会の熱心な取り組みにより、ますます充実してきました。

例会の内容も相互の親睦が深まり、毎回素晴らしいメンバースピーチが花を添えて、中身のある楽しい会になりました。これからも会員にとってPCの例会が楽しみになるようなものにしていきたいと思います。

④創立1周年記念事業(9月15日)の件

・実施の仕方として、記念例会、記念式典、記念祝賀会など、幹事報告の中でまとめて行きます。

今年度も、楽しく有意義な会になることを祈念します。

■会食



新年度スタート 会長挨拶

■幹事報告 幹事 澤田研二

①定期総会について

- ・初めての定期総会の総括としては、一応の評価を頂きました。
- ・収支決算報告書、収支予算書は仮という形で総会時に紹介していましたが、今回正式に確認して頂きます。

②東京日野PC事務所活用の件

- ・地域消防団の詰め所となり、現在使用出来ません。代わりに、飛火野RC事務所、安西参与氏の事務所を使用して下さい。(今年中)

③創立1周年記念について

- ・9月15日は、例会・式典・祝賀会とする。

創立1周年記念例会次第(案)

■第10回例会 11:00~

■創立1周年記念式典 11:20~

・開式の辞

・来賓祝辞 全日本P協議会
東京日野RC会長
東京八王子PC会長

・記念講演

高幡不動尊 尊主 川澄祐勝

・閉式の辞

■記念祝賀会 13:00~

・開会の挨拶

・来賓祝辞 東京飛火野RC会長
・来賓祝辞と乾杯 東京多摩PC会長
・祝宴(アトラクション)

・中締め

・閉会の挨拶

14:30~

- ・記念誌の発行:「プロバスだより」を充実させて、各会員全員が寄稿する。
- ・社会奉仕活動として、地域奉仕委員会活動の一環とし、チャリティーコンサートへ参画。

④ 駐車場利用の件

- ・駐車場ご利用の方は、必ず上の駐車場を使用して下さい。

⑤ 会計報告 副幹事 佐藤郁夫

- ・先月の会計報告は、暫定で報告してありましたが、この度6月30日までのものを入れて収支決算報告書、予算書の確定分を報告します。

■ 委員会報告

例会委員会 委員長 奥 修兵

① メンバースピーチの今後の予定

- 8月: 泊谷時男氏 10月: 黒澤直明氏
- 11月: 山本英次氏 12月: 渋谷文雄氏
- 1月: 榎本吉伸氏

情報委員会 委員長 林 良健

- ① 「プロバスだより」第8号が、発行出来ました。

会員委員会 委員長 鷲尾昭夫

① 会員手帳の件

- ・手帳に掲載する内容を他のRC、PCを参考にして検討し、次回ご案内します。
- ・新入会員の予定はございません。

研修委員会 委員長 小島康義

- ① 23年度は、会員相互理解を深めるように、頑張っています。
- ② 第1回研修会(日帰りバスハイク)案内
 - ・申し込み締め切り: 8月18日
- ③ 世界文化遺産・平泉の件
 - ・来年3、4月頃の計画を検討する。
- ④ ゴルフの件
 - ・8月26日・河口湖カントリークラブ
 - ・メンバーは8名で実施。

地域奉仕委員会 委員長 山本英次

- ① 東日本大震災復興支援チャリティー「ビルマン 聡平ヴァイオリンコンサート」は7月17日終了、ご協力ありがとうございました。全額寄付できました。
- ② 東日本大震災復興支援チャリティーコンサート「正秋バンド愛のサウンドフェスティバル」
 - ・協賛として広告を出す。(10,000円)
 - ・チケット販売に協力する。
 - ・当日、会場整理に協力する。
- ② “気にかげ”運動
 - ・高齢者を守る支援活動として取り組んでいく予定ですが、具体的に何をするのかを明確にして、ご案内します。

■ メンバースピーチ

「放送メディアの変遷」

副会長 菊池昭雄

6月26日、岩手県「平泉の文化遺産」が世界文化遺産へ登録されましたので、「放送メディアの変遷」の話の後で、「春の藤原まつり」(H13.5.19放送)をDVDで紹介したいと思います。

【人間の情報伝達の原点】

- ・時間と空間を超えて「見たい」「聞きたい」という欲求を実現させたもの。
- ・西暦前5万年: 絵にして記録。
- ・西暦前4千年: 音を表す。
- ・西暦1450年: 活字が発明される。



【ラジオ放送の誕生】

- ・1840年頃: 電信が発明、文字を光と同じ速度で運ぶ。
- ・1857年: 電話が発明。
- ・1895年: マルコーニが無線実験に成功。
- ・1920年: (米)ラジオ放送KDKA局開設。(世界最初のラジオ放送。)

【日本のラジオ放送の誕生—NHK】

- ・1921年: NHKがラジオ放送の実験開始。
- ・1925年: NHKが初のラジオ放送開始。
- ・ラジオはニュース、娯楽、スポーツなど楽しめるメディアとして大衆に普及。
- ・1941年: 太平洋戦争勃発。ラジオは軍部に利用。

【民間放送ラジオの誕生】

- ・アメリカの放送形態と同様の民間放送誕生。
- ・昭和26年: 民放ラジオが開設。(中部日本放送、毎日放送)
- ・民放は、「大衆性、大衆参加性、速報性」を基本。
- ・次第に聴取者に歓迎、広告主に注目を集める。
- ・ラジオは災害時の情報収集に優れたメディア。

【FMラジオ放送】

- ・昭和57年NHK FM開局。民放も各県に開設。

【テレビ放送の開発と挫折】

- ・音に映像を加える研究は、大正末期から実施。
- ・日本初のテレビ映像成功(高柳健次郎氏:元日本ビクター(株)副社長)
- ・テレビの開発も実用化寸前で太平洋戦争勃発で中断。

【テレビ時代の到来】

- ・昭和28年:東京NHKテレビ開局。
- ・民放第1号日本テレビ開局。テレビ時代の幕開。
- ・街頭テレビに群衆視聴が主流。
- ・昭和34年:「皇太子ご成婚」中継が普及拡大。
(昭和34年200万台→昭和35年420万台)
- ・昭和35年:カラー放送開始
- ・UHF帯が開放、テレビ局は各県3~5局体制。

【衛星放送とデジタル】

- ・BS放送→放送専用の衛星を使っでの放送。
- ・CS放送→電話など通信を目的とする通信衛星を使っでの放送。

【デジタルテレビ放送のメリット】

- ・高画質、高音質、データ放送、双方向の特徴。
- ・液晶画面の開発で大型化し、多彩な楽しみ。

【アナログTV放送は7月24日終了】

- ・アナログ放送をデジタル放送に転換。
- ・アナログ波を開放し、その電波を他の目的に。
- ・デジタル化は40~50億円の設備投資。

【アナログ放送の終了は放送史における一時代の終焉である】

- ・私は、昭和29年から平成17年まで51年余の放送人生を送り、社長時代にデジタルの基本計画を作り、実施を次の社長に委ねて一線を退いた。
- ・テレビはメインメディアと言われているが、デジタル時代に活路を見出し、視聴者が求めるニーズに応え、健全な経営を取り戻して欲しいと願うものである。

【アナログ放送終了後の放送形態】

①ラジオ放送

- ・AMラジオ放送(情報中心の一般放送47社)
- ・FMラジオ放送(音楽中心の放送53社)
- ・短波ラジオ放送(NHK各国向け、日経株式情報)
- ・コミュニティ放送(市町村単位のFM局167社)

②地上デジタルテレビ放送

- ・地上デジタルテレビ放送(一般の放送127社)
- ・ケーブルテレビ放送(各テレビ放送の再送信521社)

③衛星デジタルテレビ放送

- ・BSデジタルテレビ放送(一般放送19社)
- ・CSデジタルテレビ放送(専用チャンネル105社)
- ・110度CSデジタルテレビ放送(スカパー!e2)

「春の藤原まつり」(H13.5.19 IBC岩手放送)

「藤原まつり」は、毎年春と秋に開催。特に5月1日から5日までの春のまつりが華やかです。

期間中には、稚児行列をはじめとしてさまざまな催しがある中、圧巻するのは3日目の「源義経公東下り行列」。世界文化遺産に登録された毛越寺から中尊寺まで行列します。



藤原秀衡公に扮する 菊池昭雄社長

毎年、秀衡・義経・北の方など、それぞれの役柄に合った人が選ばれ、馬や牛車に乗って、山伏姿の弁慶ら武者一行・侍女たちを従えて毛越寺から中尊寺まで行列します。

■閉会

副会長 菊池昭雄

9月の創立1周年記念例会・式典・祝賀会にご意見を出し合って、1周年をお祝いしたいと思っております。



■平成23年度は、単に議事録的情報紙から、いろいろな情報を発信して、読みやすい紙面づくりを心掛けていきたいと思っております。あせらず、ゆっくりと!